

SUKAGAWA SHINKIN BANK

第113期

業 務 報 告 書

令和7年4月1日～令和8年3月31日



須賀川信用金庫

ごあいさつ

初夏の風が心地よい季節を迎え、会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご愛顧とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げますとともに、ここに第113期(令和7年度)の事業概況と決算状況につきましてご報告申し上げます。

さて、わが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復基調が続いており、政府の経済政策の効果もあって更なる成長が期待される一方、不安定な中東情勢などの地政学的リスクや関税政策・貿易問題など、世界的な政治・経済情勢は極めて不確実性が高く、経済に大きな影響を与えています。

また、人手不足や原材料価格の高騰など、中小企業の経営環境は依然として厳しい状況にあるとともに、物価上昇の継続が消費マインドを下押し、個人消費は所得の伸び等に比べて力強さを欠いています。

当金庫はそのような中で、地域の皆さまの取り組みを金融面から支えるべく、経営改善支援や創業・事業承継支援などの事業支援の強化、個人のお客さま向けサービスの充実、地域連携事業の推進など、幅広い分野で取り組みを進めてまいりました。その結果、預金・貸出金残高ともに前期末比で増加しましたが、業況が悪化した先に対する貸倒引当金を積み増したことから、増収・減益となりました。しかしながら、8年連続で黒字を確保することができましたのは、ひとえに地域の皆さまの力強く温かいご支援のたまものであり、改めて深く感謝申し上げます。

令和8年度は、中期経営計画「すしん『未来を拓く変革への挑戦』3か年計画」の最終年度となります。経営目標である「当金庫は、会員、お客さま、そして職員をはじめとする地域のすべての人の成長と幸せのために行動し、協同組織の地域金融機関として地域が抱える課題解決に貢献し、持続可能な地域社会を創る。」を実現すべく、事業者のお客さまに対しては、「事業性評価の深化、伴走支援の推進」、個人のお客さまに対しては、「生活設計支援・生涯設計支援」、地域に対する取組としては、「面的支援による魅力と活気溢れる地域づくり」の3つの重要課題を掲げて、更に積極的に取り組んでまいります。

今後とも当金庫は、『経営理念』である「相互扶助の精神にもとづき、地域と共に歩み、地域と共に栄える」という精神のもと、一人でも多くの方が、笑顔で暮らせる持続可能な地域社会・地域経済の発展に向けて、役職員一丸となり、地域密着型金融の取組をさらに深化させてまいりますので、皆さまには、相変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願いを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



理事長
伊藤 平男

事業の概況

事業方針

地縁性金融機関として、「相互扶助」の精神に基づき、地域やお客さまに寄り添いながら地域が抱える課題に取り組み、中期経営計画「すしん『未来を拓く変革への挑戦』3か年計画」のもと、事業者のお客さまには、「事業性評価の深化、伴走支援の推進」、個人のお客さまには、「生活設計支援・生涯設計支援」、地域への取り組みとしては、「面的支援による魅力と活気溢れる地域づくり」の3つを経営目標に掲げて活動いたしました。

金融経済環境

令和7年度（2025年度）のわが国経済は、雇用・所得環境改善のもとで、全体としては緩やかな回復基調が継続されています。AI・半導体投資の拡大や高市政権の政策への期待感から、日経平均株価が史上最高値を更新するなど、金融環境が大きく変化した一年となりました。他方、世界経済は、中国経済の先行き懸念、ウクライナや中東情勢の混乱、米欧と中露の対立といった分断の構造が長期化するなど、地政学的リスクは依然として不確実性が高い状況が続いています。そのような中、日本銀行が12月に政策金利の引き上げを行ったことや、円安、インフレ懸念から市場金利が上昇しており、金利リスクのマネジメントの重要性がさらに増している状況にあります。

また、中小企業を取り巻く環境も物価上昇によるコスト増や、急速に進む人口減少、少子高齢化等を背景に、深刻な人手不足や後継者問題等、多くの経営課題に直面し、極めて難しい経営環境下に置かれていることから、当金庫は、資金繰り支援や経営改善支援はもとより、販路拡大支援や個人ならびに地域社会が抱える様々な課題解決支援に全力で取り組んでまいりました。

業 績

預金は、公金預金は指定金融機関の当番交代等から減少しましたが、各種キャンペーンを展開した結果、法人預金及び個人預金は増加し、期末残高では前期末比12億円増加の2,407億円となりました。期中平均残高では、法人預金は増加しましたが、個人預金、公金預金が減少し、前期末比28億円減少の2,403億円となりました。

貸出金は、法人向けでは、事業者さま向けに増強キャンペーンを展開し、積極的な資金繰り支援を、個人向けでは、教育ローンやマイカーローンを中心に推進したことにより、期末残高

では前期末比26億円増加の1,130億円、期中平均残高では、個人向けで減少したものの、法人向け、地方公共団体向けで増加し、前期末比5億円増加の1,116億円となりました。

収益面では、経常収益は、日本銀行の政策金利引き上げや市場金利の上昇等により、貸出金利息及び預け金利息が増加したことから、資金運用収益が前期比353百万円増加したほか、役務取引等収益が前期比23百万円増加したこと等により前期比410百万円増加の3,335百万円となりました。一方、経常費用は、預金利息の増加等により資金調達費用が増加したほか、国債等債券売却損や貸倒引当金繰入額が増加したこと等から、前期比638百万円増加の3,141百万円となりました。

その結果、経常利益は前期比228百万円減少の194百万円、当期純利益は前期比144百万円減少の183百万円を計上し、増収減益となりました。

事業の展望

当金庫は、人口減少や事業者の後継者不足、金融デジタル化の進展など地域経済の構造変化が加速する中、地域から信頼される経営展開を推し進めるため、全国信用金庫協会や信金中央金庫とのネットワークを最大限に生かし中期経営計画「すしん『未来を拓く変革への挑戦』3か年計画」に基づき、資金供給と様々な経営支援、個人の資産形成支援に努め、協同組織の金融機関として、地域社会・地域経済の持続的な発展に向けて、業務展開を進めてまいります。

対処すべき課題

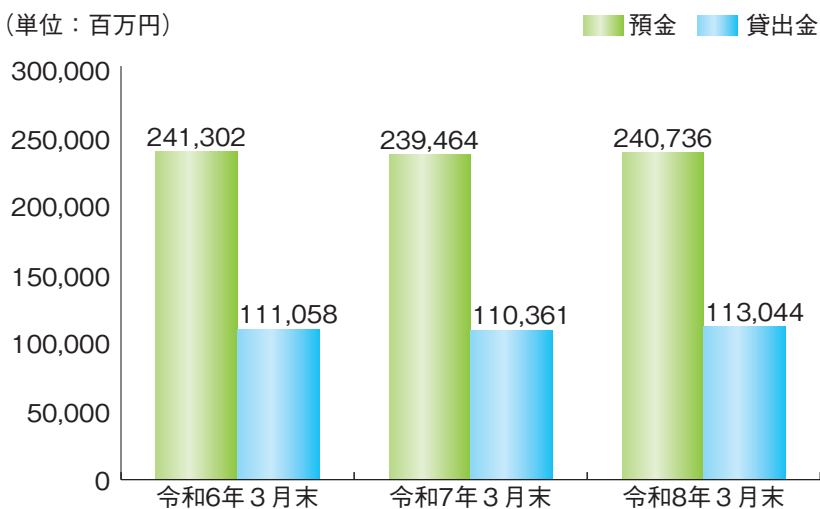
当金庫の使命は、社会・経済が多岐にわたり変化するなか、地縁性金融機関として、会員や地域の皆さまとしっかりと向き合い、地域が抱える様々な課題解決に努め、持続的な地域社会の発展に貢献していくとともに、盤石な経営基盤を築き、地域やお客さまから必要とされ続け、これを揺るぎないものとすることにあります。

このために、中期経営計画において、①事業者のお客さまに、事業性評価の深化、伴走支援の推進、②個人のお客さまに、生活設計支援・生涯設計支援、③地域に対する取り組みは、面的支援による魅力と活気溢れる地域づくりを掲げ、地域密着型金融の取り組みをさらに深化させてまいります。

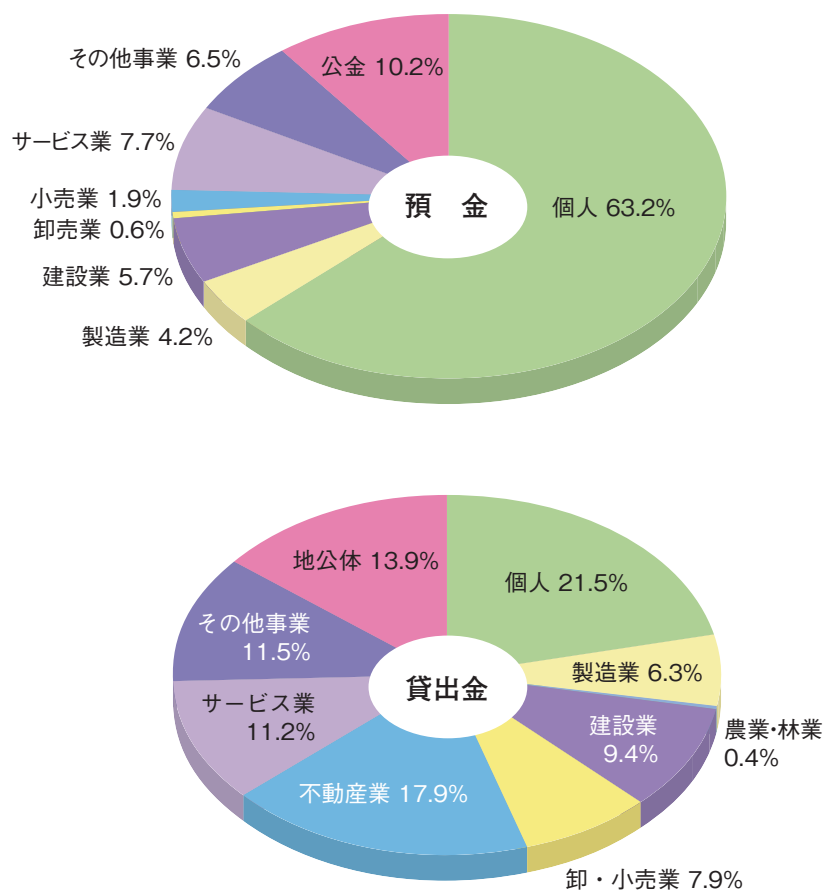
業績の推移

預金・貸出金残高の推移

(単位：百万円)

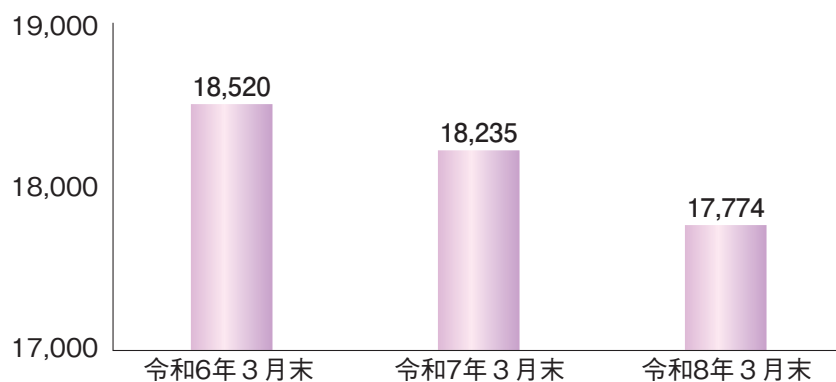


預金・貸出金業種別残高比率



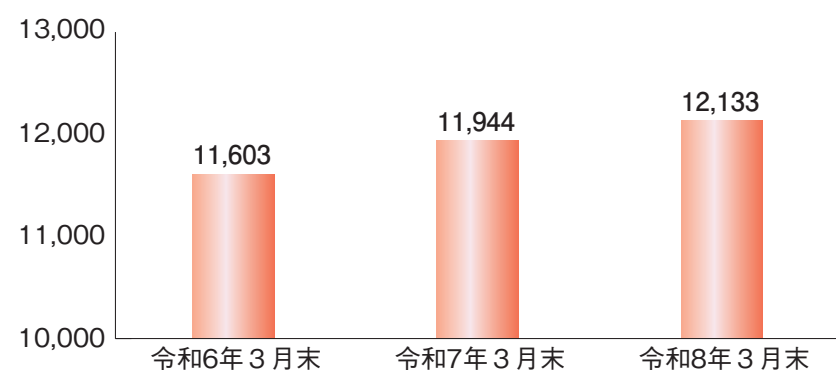
会員数の推移

(単位：人)



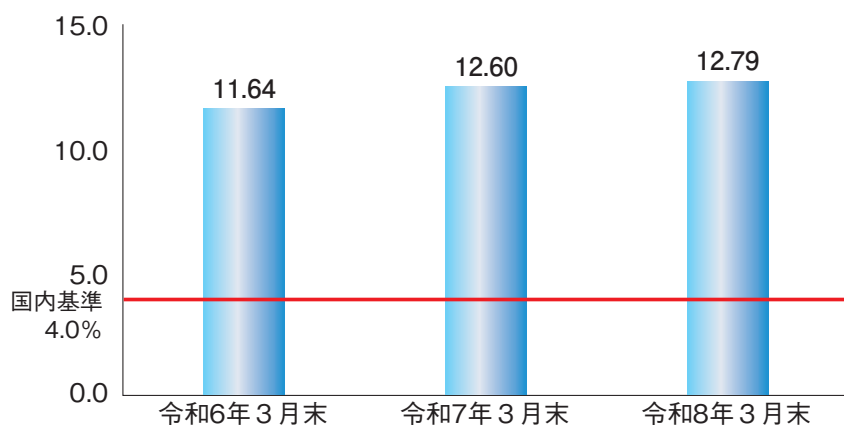
自己資本額の推移

(単位：百万円)



自己資本比率（国内基準）の推移

(単位：%)



第113期 (令和8年3月31日現在) 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金	3,626	預 金 積 金	240,736
預 け 金	57,642	当 座 預 金	4,456
買 入 金 銭 債 権	1,473	普 通 預 金	138,097
有 価 証 券	68,474	貯 蓄 預 金	1,132
国 債	3,637	通 知 預 金	545
地 方 債	12,193	定 期 預 金	90,365
社 債	33,560	定 期 積 金	3,783
株 式	418	そ の 他 の 預 金	2,355
そ の 他 の 証 券	18,664	借 用 金	80
貸 出 金	113,044	借 入 金	80
割 引 手 形	148	そ の 他 負 債	596
手 形 貸 付	8,491	未 決 済 為 替 借	73
証 書 貸 付	98,767	未 払 費 用	220
当 座 貸 越	5,637	給 付 補 填 備 金	2
そ の 他 資 産	1,902	未 払 法 人 税 等	8
未 決 済 為 替 貸	55	前 受 収 益	58
信 金 中 金 出 資 金	1,186	払 戻 未 済 金	17
未 収 収 益	367	払 戻 未 済 持 分	3
そ の 他 の 資 産	293	職 員 預 り 金	60
有 形 固 定 資 産	2,457	資 産 除 去 債 務	32
建 物	1,180	そ の 他 の 負 債	118
土 地	1,113	賞 与 引 当 金	57
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	163	退 職 給 付 引 当 金	8
無 形 固 定 資 産	15	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	79
ソ フ ト ウ ェ ア	8	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	17
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	6	偶 発 損 失 引 当 金	18
繰 延 税 金 資 産	1,768	債 務 保 証	543
債 務 保 証 見 返	543	負 債 の 部 合 計	242,138
貸 倒 引 当 金	△854	(純資産の部)	
(うち個別貸倒引当金)	(△745)	出 資 金	940
		普 通 出 資 金	940
		利 益 剰 余 金	11,122
		利 益 準 備 金	940
		そ の 他 利 益 剰 余 金	10,181
		特 別 積 立 金	9,695
		当 期 未 処 分 剰 余 金	486
		会 員 勘 定 合 計	12,062
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△4,105
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△4,105
		純 資 産 の 部 合 計	7,957
資産の部合計	250,095	負債及び純資産の部合計	250,095

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第113期 (令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経 常 収 益	<u>3,335,330</u>
資 金 運 用 収 益	2,877,569
貸 出 金 利 息	1,860,636
預 け 金 利 息	319,779
有 価 証 券 利 息 配 当 金	660,410
そ の 他 の 受 入 利 息	36,743
役 務 取 引 等 収 益	392,059
受 入 為 替 手 数 料	161,574
そ の 他 の 役 務 収 益	230,484
そ の 他 業 務 収 益	25,497
そ の 他 の 業 務 収 益	25,497
そ の 他 経 常 収 益	40,204
株 式 等 売 却 益	27,385
そ の 他 の 経 常 収 益	12,818
経 常 費 用	<u>3,141,189</u>
資 金 調 達 費 用	469,817
預 金 利 息	464,370
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	3,091
借 用 金 利 息	1,706
そ の 他 の 支 払 利 息	647
役 務 取 引 等 費 用	226,924
支 払 為 替 手 数 料	48,063
そ の 他 の 役 務 費 用	178,860
そ の 他 業 務 費 用	89,329
国 債 等 債 券 売 却 損	86,991
そ の 他 の 業 務 費 用	2,338
経 費	2,044,174
人 件 費	1,262,332
物 件 費	698,073
税 金	83,768
そ の 他 経 常 費 用	310,945
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	264,068
株 式 等 売 却 損	9,510
株 式 等 償 却	510
そ の 他 の 経 常 費 用	36,856
経 常 利 益	<u>194,141</u>
特 別 損 失	<u>197</u>
固 定 資 産 処 分 損	197
税 引 前 当 期 純 利 益	<u>193,944</u>
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	<u>8,297</u>
法 人 税 等 調 整 額	<u>2,126</u>
法 人 税 等 合 計	<u>10,424</u>
当 期 純 利 益	<u>183,520</u>
繰 越 金 (当 期 首 残 高)	<u>302,781</u>
当 期 未 処 分 剰 余 金	<u>486,302</u>

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第113期 (令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで) 剰余金処分計算書

(単位：円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	486,302,012
積 立 金 取 崩 額	378,000
利益準備金限度超過取崩額	378,000
剰 余 金 処 分 額	173,206,883
普通出資に対する配当金	(年2.5%) 23,206,883
特 別 積 立 金	150,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	313,473,129

以上のとおりであります。



理 事 長 伊 藤 平 男
 専 務 理 事 加 藤 勉
 常 務 理 事 大 槻 次 男
 理 事 岩 井 勇 也
 理 事 安 藤 秀 和
 理 事 福 田 学
 非常勤理事 佐 藤 俊 彦
 非常勤理事 吉 田 陽 子

以上各項を監査の結果、その正確なることを認めます。

令和8年5月28日

常 勤 監 事 鈴 木 伸 太 郎
 非常勤監事 滝 田 賢 治
 非常勤監事 矢 吹 信 一

(注) 監事 滝田賢治は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

会計監査人による監査報告

信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、東北監査法人の監査を受けております。

トピックス

悩み・困りごと特別相談会

当金庫顧問弁護士による無料法律相談会を5/30・5/31、11/28・11/29に実施

献血協力

6/4・1/14

須賀川市の協力要請により移動献血車にて献血協力



県下信用金庫一斉 クリーン作戦 (清掃活動)

全営業店・本部役職員が参加し、6/16、10/8に実施



第112回通常総代会

6/25に開催し、6つの議案を承認可決



桜の絵画コンクール

須賀川市と古殿町の小学生を対象に桜の絵画コンクールを実施



第11回 須賀川信用金庫理事長杯野球大会

8/16・8/17に実施 須賀川・岩瀬管内の9校が参加

産科用ベッド更新のため 公立岩瀬病院へ寄付

社会貢献活動の一環として、
10/17に公立岩瀬病院が実施する産科用ベッド更新クラウドファンディングへ寄付



松明あかし

11/8
日本三大火祭り
「松明あかし」に参加



須賀川市文化センター ネーミングライツ契約の締結

社会貢献活動の一環として、須賀川市と文化センターの愛称に係るネーミングライツ契約を締結
愛称「須賀川しんきん文化センター」



新春講演会

すしん信和会、須賀川しんきん経営者協議会及び、すしんオンリー1倶楽部の共催により、元谷美美子氏（アパホテル(株)取締役社長）を講師に迎え1/16に開催



消火訓練

3/26
水消火器を使った消火器取扱訓練を実施



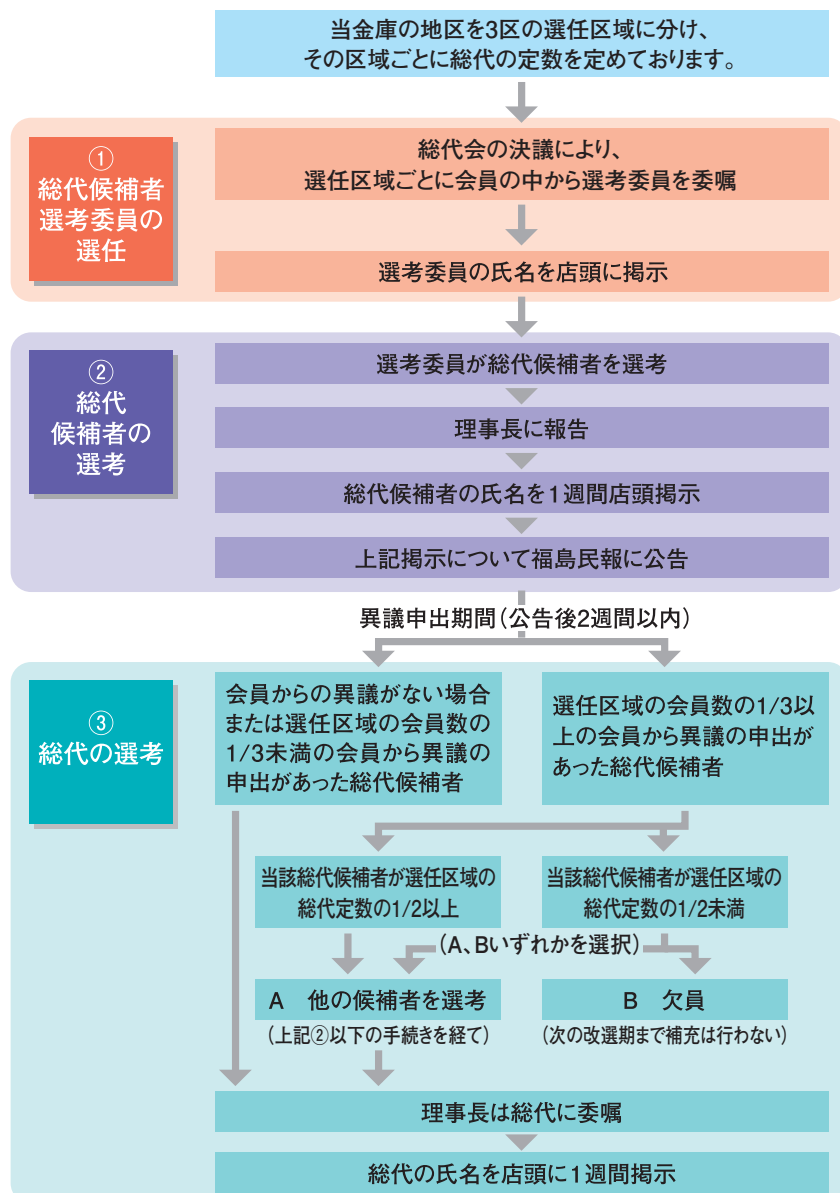
総代会等に関する情報開示

1 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代わり総代会制度を採用しております。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の業務を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

2 総代が選任されるまでの流れ



3 総代選任区域及び総代数

令和8年3月31日現在

地区	区 域	人数
1区	須賀川市 鏡石町 天栄村	(59) 59
2区	石川町 古殿町 玉川村 平田村 矢吹町の一部	(18) 18
3区	郡山市	(23) 23

注 ()内は定数です。

4 第113回通常総代会

令和8年6月19日、第113回通常総代会を開催し、下記の事項につきいずれも原案通り承認可決されました。

報告事項

第113期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）
業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件

決議事項

第1号議案 第113期剰余金処分案承認の件
第2号議案 定款第15条に基づく会員除名の件



INFORMATION

店舗所在地

(令和8年4月1日 現在)

店舗名	所在地	電話番号	ATM設置台数
①本店営業部	〒962-0842 須賀川市宮先町31番地	(0248)75-3171	  
②駅前支店	〒962-0859 須賀川市塚田88番地	(0248)75-2168	 
③石川支店	〒963-7851 石川郡石川町字新町11番地	(0247)26-3111	 
④郡山支店	〒963-8871 郡山市本町二丁目1番9号	(024)932-2005	
⑤桑野支店	〒963-8025 郡山市桑野二丁目35番7号	(024)934-0171	
⑥鏡石支店	〒969-0401 岩瀬郡鏡石町不時沼331番地5	(0248)62-3175	 
⑦長沼支店	〒962-0203 須賀川市長沼字金町151番地	(0248)67-3171	
⑧上町支店	〒962-0864 須賀川市北上町84番地5	(0248)76-5911	 
⑨西川支店	〒962-0054 須賀川市牛袋町121番地1	(0248)76-3171	  
⑩古殿支店	〒963-8305 石川郡古殿町大字竹貫字竹貫38番地1	(0247)53-3727	
⑪富田支店	〒963-8045 郡山市新屋敷一丁目167番地	(024)921-0222	
⑫玉川支店	〒963-6312 石川郡玉川村大字小高字南嚙10番地1	(0247)57-4178	 
⑬安積支店	〒963-0105 郡山市安積町長久保三丁目3番1	(024)945-1222	
⑭須賀川市役所支店	〒962-0831 須賀川市八幡町135番地	(0248)72-2121	

※全てのATMで、通帳繰越機能がご利用いただけます。
 ※全てのATMに視覚障がい者用ハンドセットが設置されています。
 ※全てのATMに点字表示が標準化されています。



入金・払戻・記帳・振込(現金取扱可)・定期預金取引可
 ※須賀川市役所支店は現金振込の取扱いはありません

◎須賀川市内に6店舗、郡山市内に4店舗、
 石川郡内に3店舗、岩瀬郡内に1店舗の**合計14店舗**がございます!

INFORMATION

■ 店舗外自動サービスコーナー (令和8年4月1日 現在)

設 置 場 所	
須賀川市内	上町支店 川東出張所(大東商工会隣) ●
	公立岩瀬病院 ●
	ヨークベニマルメガステージ須賀川南店 ●
	ヨークベニマル須賀川森宿店 ●
	ながめまショッピングパーク アスク ●

● 入金・払戻・記帳・振込(当金庫および提携金融機関CDカードの取扱可)・定期預金取引可



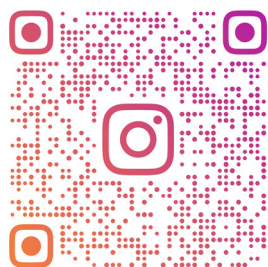
※詳しくはホームページをご覧ください。

または、店舗にリーフレットを備え付けてございますのでお気軽にお問合せ下さい。

福島県内8信用金庫のATMご利用手数料が

365日 → **終 日 無 料**

- 対象カード／福島県内 8 信用金庫が発行するすべてのカード
- 対象 ATM／福島県内 8 信用金庫が設置する店舗内・店舗外 ATM
- ご利用内容／お預入れ・お引出し



SUKAGAWA_SHINKIN_BANK

Instagram
はじめました!



FOLLOW ME!

SUKAGAWA_SHINKIN_BANK



地域をつなぎ、地域と共に歩む



須賀川信用金庫